

令和8年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業概要書
(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

第1 財団運営の基本方針

1 運営理念

一般財団法人松本市芸術文化振興財団は、文化施設等の管理運営及び施設を活用した事業の推進により、市民の自主的な芸術文化活動を推進するとともに、優れた芸術文化に触れる機会を提供し、地域文化の継承・発展・創造を図り、もって、心豊かな活力ある社会の形成に寄与することを目的とします。

また、性別、年齢、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが広く文化芸術を楽しめる機会をつくり、人々の笑顔があふれるまちを創造します。

(1) MISSION

多様化、高度化する市民の要望に応えるとともに、各施設の特徴を生かした事業を展開し、松本の文化の継承・発展・創造を図り、活力あふれる、人間性豊かなまちづくりに寄与します。

(2) VISION

各施設では、地域に根差した事業運営により、市民との協働、市民活動の支援、人材育成を推進し、市民から愛される施設を目指します。

(3) VALUE

各施設間の連携により、効果的・効率的な自主事業を実施し、芸術文化の振興に積極的に取り組みます。

2 所管業務

(1) アート事業部

松本市が推進する「まちなかアートproject」に係る活動を展開します。

ア 文化芸術団体間の交流促進と活動機会の提供拡大等により、活動者の自発的な取組みが促進されるプラットフォームとして機能していくことを目指します。

イ 市内で行われている多様なアート活動（パブリックアート、イベント、展示、パフォーマンス等）を一つのプラットフォームに統合し、情報を一元化します。

それにより、より多くの市民や観光客に対して文化芸術に触れる機会を提供し、日常生活の中でアートを身近に感じられる環境を創出します。

(2) 施設管理・事業運営

松本市美術館	館管理 ミュージアムショップ運営	令和4年4月～ 令和9年3月	特命指定 委託料方式
松本市梓川アカデミア館	館管理 自主事業		
松本市音楽文化ホール	館管理 自主事業	令和5年4月～ 令和10年3月	特命指定 利用料金制 委託料併用方式
まつもと市民芸術館			
松本市波田文化センター			

管理運営コストの削減や計画的かつ効率的な運営に努めます。また、市民の施設利用を支援するため、市に登録された文化芸術団体の利用に対する利用料減免措置を広く周知します。

まつもと市民芸術館では、大規模改修工事に伴い主ホールと小ホールを閉鎖しますが、劇場に触れる機会を失わないようアウトリーチに重点的に取り組み、令和8年度の管理運営費については施設運営に見合った内容へ見直します。また、各施設においてはその特性を活かした自主企画を実施し、芸術性の高い作品から娯楽性のある公演・展示まで幅広く提供することで、市民が文化芸術に触れる機会を拡大します。

3 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に実施するため、引き続き税理士等の専門家から支援を受けるとともに、職員のコンプライアンス意識およびコスト意識の向上を図るべく、各種研修を実施します。事業の実施にあたっては、事業収入の増加や補助金等の活用により事業を拡充し、健全な運営を目指します。

(2) 財団改革

物価高騰等の社会情勢の変化への対応と、勤務実態と処遇の乖離を是正するため、令和8年度から職能要件と賃金表の見直しを実施します。また、令和4年度に導入した人事評価制度から3年が経過し課題が顕在化したため、評価制度の改善を行いながら、適正な人材配置に努めます。

(3) 連携強化

令和5年度からは、文化芸術施設3館一括で指定管理者として指定を受けたことから、今まで以上に施設間の連携を深めます。

各館の事業をわかりやすく周知するため、デジタルサイネージやホームページの連携による情報発信やLINEの導入を進めます。

3 職員体制

令和8年4月1日予定

単位:人

施設等	区分	全体統括者	人数	事務的・技術的責任者	人数	企画・調整職	人数	一般職	人数	計
事務局	市	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1			3
	財団					チーフ	1	オペレーション	1	2
	計		1		1		2		1	5
アート事業部	財団	事業部長 (芸術館館長兼務)	(1)			事業部次長 (芸術館企画制作シニアチーフ兼務) チーフ(芸術館チーフ兼務)	(1) (1)			
	計									
美術館	市			副館長	1	副館長補佐	2	主事	1	4
	財団					チーフ	1	オペレーション	1	2
	計				1		3		2	6
梓川 アカデミア館	市			館長(美術館副館長兼務)	(1)	館長補佐 (美術館副館長補佐兼務)	(2)	主事(美術館主事兼務)	(1)	
	財団							オペレーション	2	2
	計								2	2
音楽文化 ホール	財団			館長	1	チーフ	1	オペレーション クリエイティブ	5 1	8
	計				1		1		6	8
市民 芸術館	財団	芸術監督団 館長	(3) 1	マネージャー プロデューサー シニアプロデューサー	1 1 1	シニアチーフ チーフ	2 7	オペレーション クリエイティブ	3 8	24
	計		1		3		9		11	24
波田文化 センター	財団			館長	1	チーフ	1	オペレーション	1	3
	計				1		1		1	3
合計	市		1		2		3		1	7
	財団		1		5		13		22	41
	計		2		7		16		23	48

第2 事業計画

1 アート事業部

活動方針

1 基本目標

松本市と連携して市民やアーティストの芸術文化活動の促進を図るとともに、日常生活の中で文化芸術に触れる機会を増やし、街に魅力と賑わいを創出することを目指します。

そのためのアートと社会をつなぐ中間組織として、市民等の芸術文化活動に関する相談・支援窓口機能の充実強化を図ります。

2 令和8年度の実施

(1) 東アジア文化都市事業

ア 事業サポート

「演劇・音楽・舞踊」部門の事業をサポートしつつ、トータルコーディネートを行います。

イ 開闭幕式・閉幕式

開闭幕式および閉幕式における企画・演出のほか運営全般を統括します。

ウ 若者交流事業、若者地域マッチング事業

若者同士の交流促進や、地域と若者のマッチングを支援します。

エ 東アジア文化都市サポーターズの統括

各プロジェクトを応援する市民や企業等をサポートとして募集し、幅広い世代の参画を促します。

オ 上記に係る広報・PR

SNSなどを有効活用し、事業の周知を広く行います。

カ 報告書の作成

国際交流や文化に対する市民の意識変化調査を含めた、事業報告書の作成をします。

(2) まちなかアートproject

ア ホームページの管理運営

イベントカレンダーを充実させ、市民や来訪者が最新情報を容易に把握できるよう情報の一元管理に努めます。

イ アーティストバンクの管理及び広報を行います。

ウ 発表の場の拡充

アーティストの発表機会の創出による支援を行い、育成につなげます。

(3) 松本市PR事業

松本市のマスコットキャラクター アルプちゃんの着ぐるみを市民活動グループ、団体及び企業等が主催するイベントに貸し出し、松本市を広くPRします。

2 松本市美術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が公立の施設であることを十分認識し、利用者サービスの向上及び施設の適切な維持管理に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」《鑑賞・表現・学習・交流の場》を踏まえた施設の管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
 - 《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会の充実
 - 《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成
 - 《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境づくり
 - 《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実

2 令和8年度の重点的な取組み

(1) 来館者サービス・施設管理業務

来館者に対するホスピタリティの高い案内・対応を心がけ、あらゆる世代が「また来たい」、「また利用したい」と思っただけの施設運営に努めます。

ア 受付・案内、コレクション展示室の監視と誘導

作品の保護とともに、日常的に接遇研修を行い、親切・丁寧な接客を行います。

イ 貸館業務

円滑な利用に向けた案内を実施します。

ウ 設備管理・保守点検・清掃

作品の保存、利用者が快適に過ごすことができるよう、適正な温湿度管理、清掃等を行います。

エ 来館者サービスの充実

美術館公式ホームページやSNS、デジタルサイネージ等を通じて効果的な情報発信を続けます。

(2) ミュージアムショップ運営業務

常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、来館者に「来館の記念と愛着をお持ち帰りいただく空間」を目指した企画運営を行います。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会、イベント等に連動した商品の企画・販売

ウ 所蔵品・所蔵作家や、地域をテーマとした商品の企画・販売

エ オリジナル商品の開発・販売

(3) 環境整備

施設の適正な維持保全を通じて、利用者、観覧者の満足に結びつく環境づくりに努めるとともに、安全管理、災害時等の避難誘導体制等の強化にも努めます。

3 利用促進対策

(1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。

(2) 貸室の空き情報も定期的に情報発信し、新たな利用者の開拓に努めます。

4 市主催事業との連携強化

コレクション展示や企画展、教育普及事業の実施やPRに協力し、企画力及び集客力の向上に努めます。

美術館事業一覧 (市直営事業のため、財団の収入支出なし)

1 企画展示

令和8年度の企画展開催にあたり、広報や運営のサポートを中心に積極的な事業協力を行います。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
①	つぐ minä perhonen	4月16日～ 6月7日	25,000	—	—	—	—
	「ミナ ペルホネン」のもののづくりや思想、技術の継承について考察する展覧会。						
②	ウジェーヌ・ブーダン展(仮称)	7月7日～ 8月30日	20,000	—	—	—	—
	印象派の先駆者の一人として知られるフランスの画家 ウジェーヌ・ブーダンの画業を紹介する。						
③	sustainable world 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から(仮称)	9月19日～ 12月6日	22,000	—	—	—	—
	長野県にゆかりのある写真家 佐藤大史と磯部昭子の作品を最先端表現技術を通じて紹介する。						
④	生誕200年記念 中林梧竹展	1月16日～ 3月22日	10,000	—	—	—	—
	「明治の三筆」の一人中林梧竹の代表作のほか松本ゆかりの筆跡も紹介する。						
	計		77,000	—	—	—	—

2 常設展示

草間彌生作品の拡充展示を継続してPRするほか、上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクションの展示などについても、積極的にPRを行います。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
1	草間彌生 魂のおきどころ	4月1日～ 3月末		—	—	—	—
	常設展示室全スペース利用し、草間彌生作品を展示						
2	上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクション ほか	4月1日～ 3月末	143,150	—	—	—	—
	年4回展示替えを行い、多様なテーマで収蔵品を紹介						
	計		143,150	—	—	—	—

3 教育普及(ワークショップ等)

より広い年齢層、市民の芸術文化に対する多様な学習要望に応じ、計画的に幅広い講座を実施し、美術館らしい技術体験の創出を目指すという市直営事業への協力を行います。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	
1	水の街歩きツアー「みずみずしい日常」	5月中 計4回	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル		—	—	—	—	—
2	名称未定(木工作家による展示)	4月29日～ 5月6日	—	—	—	—	—
	生活工芸の展示		—	—	—	—	—
	その他数回、企画展に合わせたワークショップを 予定(企画検討中)		—	—	—	—	—
合計			220,150	—	—	—	—

3 松本市梓川アカデミア館

活 動 方 針

1 基本目標

梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術を通じた生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和8年度の重点的な取組み

(1) 事業に関する業務

魅力ある企画展を開催し、アカデミア館の来館者数の増加を図ります。

常設展では、梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介する歴史・民俗資料及び地域にゆかりのある芸術家の作品を紹介します。

デザイン性と情報発信力を強化した刊行物を制作します。施設の魅力や事業内容が一目で理解でき、手に取った人の関心を引くようなビジュアル構成とわかりやすい編集を行います。地域の特色やアカデミア館ならではの価値を効果的に伝えることで、これまで施設を利用したことのない層にも情報を届け、事業の認知向上と来館促進を図ります。また、学校・地域団体・観光関連施設等への配布を通じ、地域の文化拠点としての役割を広く周知し、交流人口の拡大につなげます。

(2) 施設の運営及び管理に係る業務

親切、丁寧な接客を心掛けるとともに、来館者が気持ちよく利用できるよう、清潔感のある空間を維持します。

(3) 教育普及に関する業務

ア 好評を得た未就学児向けのワークショップをはじめ、幅広い年齢層を対象としたワークショップを実施し、美術への関心を高めます。

イ 学校見学や中学・高校生の職場体験等を積極的に受け入れることで、郷土への愛着を育み、館への関心を高めます。

3 利用促進対策

- (1) 地域の作家およびワークショップ講師に対し、作品発表や活動展開の場を拡大し、地域文化の担い手が活躍できる環境を整備します。新規の作家・講師の参加につながる展示・講座等を積極的に実施し、多様な文化活動を館内で展開することで、利用者の関心喚起と来館機会の増加を図ります。

これらの取り組みにより、次年度へ継続・発展可能な地域ネットワークを構築し、アカデミア館の利用促進と地域文化の活性化に寄与します。

- (2) 1 階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるように働きかけます。

- (3) 各種メディアやSNSを通じて積極的に広報活動を行います。

また、梓川アカデミア館だより「みんなで梓川アカデミア館へ行こう」を発行し、催事予定、ギャラリーなどの利用案内等の情報を発信します。

梓川アカデミア館事業一覧（委託料方式のため収入は市の歳入へ）

1 企画展示

地元ゆかりの作家の企画展及び松本市や長野県内で活躍する画家等を紹介する企画展を開催します。

	事業名	開催期間	見込み					
	事業内容		入場者数	収入			支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
①	シロトクロノモクシロク	6月6日～ 6月28日	200	0	0	0	10	△ 10
	地元作家の黒川じょん氏の展示 アクセスギャラリーで開催							
②	夏休み昆虫展	8月1日～ 8月16日	500	0	0	0	10	△ 10
	梓川ゆかりの昆虫や世界の昆虫を展示 アクセスギャラリーで開催							
③	国展100回×アカデミア館35周年企画展 『BEYOND -芸術は現在進行形-』	10月下旬～ 11月初旬	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	国画会との連携企画展 ギャラリー、アクセス ギャラリー、第2ギャラリーすべてで展示		400	80	80	0	160	△ 80
④	防火ポスター入賞作品展(松本広域消防局)	12月中旬を 予定	100	0	0	0	0	0
	松本広域消防局管内の小学生の防火ポスター入 賞作品を展示 アクセスギャラリーで開催							
⑤	市内小中学生 人権啓発ポスター展	1月上旬を 予定	150	0	0	0	0	0
	市内小中学校の児童・生徒の作成した人権啓発 ポスターの作品をギャラリーで展示							
⑥	第26回信州梓川賞展	2月上旬～ 3月上旬	1,500	(実行委員会で実施)				
	梓川流域の風景・文化・行事を描いた絵画等の公 募展							
	計		2,850	80	80	0	180	△ 100

2 常設展示

梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介する歴史・民族資料及び地域にゆかりのある芸術家の作品を紹介します。

	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	常設展示	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	郷土の歴史を伝える歴史資料、民族資料のほか、 梓川出身の写真家中沢義直氏の山岳写真、クラ シックカメラコレクションの展示		1,000	120	120	0	4	116
②	梓川賞展25th anniversary collections	5月～6月	200	30	30	0	6	24
	昨年度までに累計25回開催された梓川賞展の最 優秀作品である梓川賞に輝いた作品25点を展 示							
	計		1,200	150	150	0	10	140

4 松本市音楽文化ホール

活動方針

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や積極的な育成援助を行います。

2 令和8年度の重点的な取組み

- (1) ハーモニーメイト(ホール友の会)創立40周年記念として、ホールを支えてきてくださった地域の方にも十分に満足いただける、これまでに高い実績がある演奏家による公演を開催します。
- (2) 東アジア文化都市2026松本の開催に伴い、邦楽器を活用した公演や地域の伝統文化団体による特別公演を企画し、幅広い層に日本の伝統文化(音楽)を身近に感じてもらえるように努めます。
- (3) ベツケラートオルガンのオーバーホール実施(予定)を踏まえ、ホール独自のオルガンの魅力をさらに発展させた演奏会や講習会の実施のほか、貴重なオーバーホールの様子を記録・公開するとともに、アウトリーチ事業の実施を通じ、よりオルガンを身近に感じられる事業を展開します。

3 利用促進対策

- (1) 令和7年度に行ったホール利用料改定を踏まえ、利用者への説明・案内をより丁寧に行います。芸術館の改修に伴い増加している新規利用者にも、丁寧な説明を心がけます。
- (2) 公式ホームページの情報をさらに充実させ、SNSを始めとした広報媒体を積極的に活用します。公演情報以外の最新情報も適切な時期に提供し、安心して来館いただけるように努めます。
- (3) 「Gettii」導入に伴い利便性が向上したチケット購入システムを生かし、公演ごとの興味・関心度合い＝来場者の求める公演を探求します。更なるリピーターの拡充、将来的にも継続した「集客・創客」に繋がるよう努めます。

4 松本市との連携事業

ザルツブルク市と今後の交流を模索する松本市とともに、音楽分野での交流事業を展開し、2都市間の文化交流の発展を目指します。

1 自主事業

優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしい海外からの招聘アーティストによる演奏を含む、質の高い公演を楽しんでいただくことを目的とします。今年度は、ハーモニーメイト創立40周年を記念し、過去特に好評だったアーティストを招き、クオリティの高い公演を提供します。

2 自主企画事業

東アジア文化都市2026松本の開催を踏まえ、石丸幹二さんを迎えた特別公演のほか、地域の伝統的音楽の継承を担う団体との共同主催事業を開催し、日本の伝統的な音楽の素晴らしさを身近に感じてもらえることを目指します。

	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
	事業内容		(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
①	「物語のある音楽」 まつもと市民芸術館と連携し、石丸幹二氏出演公演を企画。宮田大、大萩康司の2名を共演に送る語りと歌・演奏で聴く特別プログラム。	7月26日	570	5,450	3,570	1,880	5,450	0

3 教育普及(ワークショップ等)

松本市やその周辺地域の伝統文化である七夕人形作り講座や布ぞうり講座などに加え、芸術振興を目的とした各種の教育普及事業を展開していきます。

	事業名	開催期間	見込み					
	事業内容		入場者数	収入			支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	未就学児向けワークショップ『アートのABC』	4月、6月、 8月、10月	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	未就学児を対象とした全4回の連続講座(隔月)		120	72	42	30	70	2
2	布ぞうり作り講座	6月	20	14	14	0	40	△ 26
	松川村研会ぞうり部による布ぞうり作り講座							
3	昆虫標本を作ろう	8月	15	8	8	0	20	△ 12
	夏休み昆虫展の期間中に開催。小中学生限定							
4	ほおずきアート	11月	15	8	8	0	20	△ 12
	葉脈のみに加工したほおずきにビー玉を入れて 工芸品を作るワークショップ							
5	ワークショップ『梓川賞展関連』	2月	15	(実行委員会で実施)				
	梓川賞展と連携したWSの開催							
	計		185	102	72	30	150	△ 48

4 コンサート

アカデミア館のギャラリーを活用したコンサートを開催します。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出
1	アカデミア館 音楽会	11月または 12月	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	松本市出身または活動拠点が松本近隣の演奏家によるコンサート開催		80	40	40	0	60
	計		80	40	40	0	60

5 施設利用

	通年	20,000	740	740	0	0	740
合計		24,315	1,112	1,082	30	400	712

※ ○数字は新規事業

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出
	おコト遊BASE(あそべーす)！in 松本		(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
②	夏休みに日本の伝統楽器(邦楽器)を身近に感じられるワークショップ・体験会を小ホールで開催。日曜日の午前中はミニコンサートも予定。	8月8日 8月9日	300	2,360	195	2,165	2,360
③	国宝松本城古城太鼓 特別公演 松本城太鼓門の復元に際して結成され、長年和太鼓アンサンブルの魅力を発信してきた市民楽団の特別公演。	11月28日	500	1,590	825	765	1,590
④	バックラートオルガンオーバーホール関連事業 オーバーホールの実施に伴い、貴重な作業の様子を記録する。また、メディア公開や見学会などを企画し、オルガンを身近に感じていただく。	12月～3月 (随時)	200	260	0	260	260
⑤	モーツァルト・ガラコンサート in松本(仮題) オーストリア・ザルツブルグ市で行われているフェスティバル「モーツァルト・ウィーク」の松本版。初年度はミニコンサートを小ホールで。	1月24日 ～27日	250	1,200	235	965	1,200
⑥	ジャズ・イリゼ&信州ジャズ 特別公演 地域で活動するシンフォニック・ジャズチーム2団体によるジョイント・コンサート。	3月8日 3月9日	300	2,380	860	1,520	2,380
	計		2,120	13,240	5,685	7,555	13,240

(2) 経常自主企画

恒例の企画を続行しリピーターの拡充を狙います。また、オルガンをはじめとしたホール保有の楽器を活用して、幅広い層に向けた公演を企画します。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出
	第47回新人演奏会		(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
1	長野県ゆかりの音楽大学等の令和8年春卒業・修了者(公募出演者)による新年度恒例のコンサート、実行委員長は花岡千春氏。	4月19日	300	740	145	595	740
2	ホールオルガニストコンサートシリーズVol. 04 CD収録を踏まえ、オーバーホール前ラストコンサートとして「今」のホールのオルガンの音色を存分にお楽しみいただくソロ・リサイタル。	9月12日	500	2,280	1,075	1,205	2,280
3	葉形亜樹子 チェンバロリサイタル チェンバロ講習会講師による恒例のリサイタル。今年度は時期をずらして小ホールで。	10月18日	100	450	190	260	450
4	おでかけオルガン ポジティブオルガンを使ったアウトリーチ。各回好評につき、地域の公共施設と連携するほか、実施回数を増やして計画。	5月29日 6月11日 9月3日 11月17日 他	400	1,190	0	1,190	1,190
	計		1,300	4,660	1,410	3,250	4,660

3 共催事業
松本をベースに活動する芸術団体等との共催事業。主催事業の幅を広げ、ホールのもつネットワークを強化します。

松本をベースに活動する芸術団体等との共催事業。主催事業の幅を広げ、ホールのもつネットワークを強化します。

4 セミナー事業
ホール所有のオルガン、チェンバロを生かした講習会を開催します。また、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催、コンサート招聘アーティストによるレッスン・セミナー事業を継続し、音楽技術の向上を図ります。

4 セミナー事業

ホール所有のオルガン、チェンバロを生かした講習会を開催します。また、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催、コンサート招聘アーティストによるレッスン・セミナー事業を継続し、音楽技術の向上を図ります。

	事業名	開催期間	見込み					
	事業内容		入場者数	収入			支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット 【受講料】	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	第25期チェンバロ講習会	5回	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	講師＝栗形亜樹子(バイエル修了者対象)		100	940	140	800	940	0
2	オルガン講習会	随時						
	講師＝小林淳子(一般市民対象) 好評の「初めてオルガン」他、1日コースの「ちょこっとオルガン」などニーズに合わせて開催。		180	1,060	144	916	1,060	0
3	オルガンレッスン(基礎)	通年						
	講師＝小林淳子 今期は通年で。		200	1,010	300	710	1,010	0
4	オルガンレッスン(発展)	5月～ 11月						
	講師＝山田由希子 成果発表会「ふいこの唄」は11月に開催予定		300	2,860	600	2,260	2,860	0

	事業名	開催期間	見込み						
	事業内容		入場者数	収入			支出	A-D 収益	
				A 総額 (B+C)	B チケット 【受講料】	C 市委託料 国等補助金	D 支出		
5	管楽器&指揮法クリニック	調整中	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
	講師＝都内音楽大学講師陣(高校生対象)		80	650	0	650	650	0	
	計		860	6,520	1,184	5,336	6,520	0	
5 その他									
1	共通事業費	通年	—	7,610	321	7,289	7,720	△ 110	
	計		—	7,610	321	7,289	7,720	△ 110	
合計				10,760	55,000	25,000	30,000	55,000	0

※ ○数字は新規事業

2 貸館事業

目標	利用料金収入	16,840,000円
----	--------	-------------

- (1) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切的な対応を心がけます。
- (2) 主催公演だけでなく、一般利用者の公演もホームページで積極的に紹介するなど、顧客サービスに努め利用者・鑑賞者の増加につなげます。

また、近隣施設の休館に合わせて増加している新規利用者への親切的な対応を心がけます。

<オルガンオーバーホール> *メインホールのみ4か月休館

区分	令和8年度												令和9年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	...
メインホール													オルガン設置 40周年記念事業 (予定)			
小ホール																
練習室																

*小ホール、練習室は通常通り開館

3 音楽文化活動支援事業

- (1) 音楽団体の活動支援
 - ア 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
 - イ 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」(ハーモニーメイト編集・発行)に掲載します。
- (2) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。
- (3) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。
- (4) 演奏ボランティア

お出かけオルガン以外にも、オルガニストによる演奏ボランティアを行います。

5 まつもと市民芸術館

活 動 方 針

1 基本目標

まつもと市民芸術館管理運営方針に定める「目指す姿」達成のため、次の項目(運営の柱)を掲げ、管理運営を行うこととします。

(1) 目指す姿

誰もが文化芸術に親しみ、創造できる環境を整えることにより、市民の心の豊かさを育むとともに、まちの賑わいにつなげます。

(2) 運営の柱

ア 質の高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。

イ 市民の芸術文化の創造を支援し、交流・発表の場とします。

ウ 次代を担う子どもたちに必要な力を養う場とします。

エ 松本のまち全体に活気をもたらす場とします。

オ 多様な人材によるスタッフの雇用に努めます。

2 令和8年度の重点的な取組み

(1) 芸術監督団のもと、引き続き「ひらいていく劇場」をコンセプトに様々な文化活動を行います。

事業の実施に当たっては、引き続き、障害の有無にかかわらず、快適に鑑賞できるようアクセシビリティの強化に努めます。

(2) 松本の歴史や文化を題材とした、松本ならではのクリエイションを行います。

(3) 第2期大規模改修中につき、「飛び出す」をテーマに劇場外での公演、市内でのアウトリーチに重点をおきます。また、長期国内ツアーを行い、収入を増やす努力をします。

(4) 改修中も活用できる館内のスペースでレクチャー、ワークショップ、展示などを継続し、劇場に触れる機会を絶やさないようにします。

3 利用促進対策

(1) 市民や観覧者の要望を把握するため、アンケート調査等を継続して実施します。その結果は公演ラインナップ編成時の参考とします。

(2) ホームページ等を通じて、チケットクラブ会員を対象とした自主事業のチケット先行販売の周知を図り、販売促進につなげます。

(3) 次代を担う子どもや若者の芸術文化及び芸術館への理解を深めるため、中学・高校・大学等の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れます。

(4) 第2期大規模改修の期間中も使用できる施設を積極的に周知し、利用率の保持に努めます。

(5) 令和9年度のリニューアルに向け、スムーズな予約の開始ができるよう、利用者への周知に努めます。

まつもと市民芸術館事業一覧

1 自主事業

(1) 創造、発信型事業 芸術監督団の企画を中心に幅広い年齢層に訴求できる音楽、ダンス、演劇等、様々なジャンルの松本ならではの公演制作を行います。東アジア文化都市との連携や長期改修中につき、他劇場や県外公演も行います。								
	事業名 事業内容	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出 D 支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金		
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
①	少年刑務所企画公演+WS 2年間のワークショップを経て作品として上演	4月18日 4月19日	350	5,000	700	4,300	5,000	0
2	『はじめまして!』(東アジア連携版) 0歳から100歳までどなたでも楽しめるコンサート、大規模改修中のため音楽文化ホールで実施	4月26日	450	7,000	1,800	5,200	7,000	0
3	Step M 国内公演+アウトリーチ、WS 5年計画でダンス作家を育成するプロジェクト。前半の集大成として	5月23日 5月24日	250	10,000	700	9,300	10,000	0
④	木ノ下歌舞伎『心中天の網島』 アクセシビリティ満載の公演。松本を含め9ヶ所では6月下旬～8月末に上演。	7月11,12日 (全国ツアー)	6,500	50,000	32,500	17,500	50,000	0
5	『ローリーの怪奇骨董お話箱』 恒例となったローリー寺西の音楽と朗読公演	8月7日	300	1,500	850	650	1,500	0
⑥	『松本のオフィーリア』(仮) 松高事件を題材にした書き下ろし新作公演	8月下旬	400	19,000	1,500	17,500	19,000	0
7	『身体と音楽』東アジア特別版 東アジア文化都市に因んで中国、韓国のダンスや音楽も。	10月上旬	150	5,000	600	4,400	5,000	0
8	ひらく古典のトピラ① 恒例の古典企画、能を上演	1月中旬	500	5,000	1,500	3,500	5,000	0
9	ひらく古典のトピラ② 恒例の古典企画	調整中	150	2,000	500	1,500	2,000	0
	計		9,050	104,500	40,650	63,850	104,500	0

(2) 鑑賞・招聘型事業

ホールがほぼ使えないため、芸術監督団事業を中心にプログラムを立てたため、招聘公演は1公演のみとしました。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市費助料 国等補助金	D 支出
①	木ノ下監督セレクト企画・花組芝居新作	7月17日 7月18日	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	木ノ下歌舞伎の先輩劇団ともいうべきネオ歌舞伎を提唱する劇団。松本初上演。		250	5,000	1,000	4,000	5,000
	計		250	5,000	1,000	4,000	5,000

(3) 教育普及・育成・市民参加型事業

市民に、鑑賞だけでなく表現の場も提供します。改修中も芸術館に来ていただくよう、スタジオやシアターパークで公演や様々なワークショップを行います。

	事業名	開催期間	見込み				
			入場者数	収入			A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市費助料 国等補助金	D 支出
1	栗山民也ワークショップ	5月中旬	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	日本を代表する演出家による演劇初心者に向けたワークショップ		10 (試演会20)	500	40	460	500
2	高校演劇春季講習会	5月下旬	80	110	110	0	110
	高校演劇をサポート、技術を中心とした講習会						
3	人形劇フェスティバル(東アジア文化都市共催)	8月11日	500	32	32	0	0
	人形劇を通じて子どもたちに3か国の文化を楽しんでもらうもの。※木ノ下裕一監督企画						
④	『Come and GO』	3月下旬	300	3,000	450	2,550	3,000
	倉田翠が公募による市民とダンス作品を制作						
5	山本卓卓ワークショップ	下半期	10 (試演会60)	1,000	40	960	1,000
	中高生対象：出演だけでなく脚本や演出、空間づくりなど、演劇制作の行程を体験						
6	ダンスワークショップ	通年	80	1,000	100	900	1,000
	幅広い世代の市民にダンスに親んでもらうワークショップ						
7	シアターパーク企画	通年	1,000	1,000	0	1,000	1,000
	改修中も芸術館に足を運んでもらうために大階段やシアターパークを利用した展示、イベント等						
8	まつもと市民オペラ	通年	200	3,000	0	3,000	3,000
	上演に向けての稽古の年						
9	「3つの国のあわいで考えるディープレクチャー」(東アジア文化都市共催)	通年	400	48	48	0	0
	文化芸術の切り口から平和を考えるレクチャーシリーズ(4回/年) ※木ノ下監督裕一企画						
	計		2,660	9,690	820	8,870	9,610

(4) アウトリーチ事業

劇場に来ることの困難な世代、地域へ演劇公演などを届け、文化をより身近なものにする動機づけとします。劇場改修中につき、今まで行ってきた演劇に加え、音楽、ダンス、古典などジャンルを広げて行います。

	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出 D 支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金		
①	アウトリーチ版『はじめまして!』	9月	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	中心市街地以外に「はじめまして!」がお出かけ公演		200	2,000	0	2,000	2,000	0
2	演劇アウトリーチ	11月	1,000	600	100	500	600	0
	シアターランポンなどによる子供向け作品							
③	古典アウトリーチ	調整中	100	600	0	600	600	0
	木ノ下監督によるアウトリーチ							
④	音楽アウトリーチ	調整中	160	600	0	600	600	0
	病院などへ音楽をお届け。							
⑤	ダンスアウトリーチ	通年	100	600	0	600	600	0
	中心市街地以外だけでなく、山間部へも。							
	計		1,560	4,400	100	4,300	4,400	0

(5) その他

実際に劇場で鑑賞する機会のない市民や全国へも芸術館の活動を広報します。また単なる劇場のPRやアーカイブを超えた広報誌を発行します。

	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出 D 支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金		
1	事業共通費	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	共通広報費、記録費、アクセシビリティなど		—	14,000	1,000	13,000	17,080	△ 3,080
2	施設利用料	通年	—	3,000	3,000	0	0	3,000
	貸館事業収入(事業費充当分)							
	計		0	17,000	4,000	13,000	17,080	△ 80
	合計		13,520	140,590	46,570	94,020	140,590	0

※ ○数字は新規事業

2 貸館事業

目標	利用料金収入	7,000,000円
----	--------	------------

- (1) 利用者の興行や催事等成功のため、専門的な立場から支援します。
- (2) 改修中の施設利用においては、工事の進捗状況に留意し、安全にご利用いただけるように努めます。また、令和9年度の予約も始まるため、スムーズなご案内ができるように対応します。

<改修期間>

区分	令和8年度												令和9年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	...
主ホール																
小ホール																
オープンスタジオ																

- (3) 非常時の避難経路や人的配置などを見直して、ご利用いただく主催者と共有し、災害発生時の迅速な避難誘導につなげます。
- (4) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、文化芸術活動からコンベンション利用まで、幅広い受け入れを図ります。

3 協働推進事業

- (1) 指定避難所として、災害時の迅速な避難所運営に対応できるよう、日頃から近隣の町会や松本市と情報共有を図るとともに、町会・地区が行う防災訓練等に協力します。

4 その他

公演に支障が出ないように、市と連携して適切な施設の維持管理に努めます。

6 松本市波田文化センター

活動方針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切に、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行います。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動を援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和8年度の重点的な取り組み

- (1) 令和6年度から継続的に取り組んでいるサーカス企画を進展させ、地域住民と関わりあう機会を創造します。今年度は、市民参加型事業として、障がいの有無、年齢を問わず多様な市民が参加できる企画に取り組みます。
- (2) 「はた映画上映会」はリピーターのお客さまが多くを占めており、恒例の事業として定着しています。中高年層を対象として、様々なジャンルの名作映画が楽しめるようにします。また、35ミリフィルム映画機による特別映画上映会を企画してアナログ機材による映像を楽しむ機会を提供します。
- (3) 松本市の西部地域の文化の拠点として、地元の団体、保育園、学校等と連携していく中でワークショップやアウトリーチを行い、身近に芸術と触れ楽しんでいただき、創造する楽しさを実感できる機会を提供します。

3 利用促進対策

- (1) 利用者の立場に立った専門的技術支援を行うなど、充実した催事となるよう支援し、次回の利用につなげます。
- (2) 来館者アンケートの結果を参考にするなど、利用者の要望に柔軟に対応します。
- (3) 4階の展望室を、利用申請の無い日に限り一般来場者に開放して施設の利便性を向上します。
- (4) 令和7年度から始めたSNS運営を積極的に活用して、Webでの情報の発信力を高めます。
- (5) 経年劣化に伴う故障が利用の妨げにならないよう、保守点検等の管理体制により施設の適正な維持保全に努めます。

波田文化センター事業一覧

1 自主事業

(1) 鑑賞型事業 中高年齢層を対象とした映画上映会を楽しんでいただけるように努めます。								
	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	「はた映画上映会」	通年2回	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(上質な映画を楽しんでいただける映画上映)		320	520	200	320	520	0
	計		320	520	200	320	520	0
(2) 市民参加型事業 合唱の企画が好評だったことから継続していきます。恒例となっているベーゼンドルファーを一般の方に弾いてもらえる機会も、2つの形で用意し楽しんでいただきます。								
	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	「うたの楽しみ」	通年6回	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(合唱曲を楽しむ参加型企画)		480	410	240	170	410	0
2	「第27回ピアノカーニバル」	9月	25	146	50	96	146	0
	(ベーゼンドルファーの市民コンサート)							
3	「つながるサーカスキャラバン」ws&成果発表	2月(4日間)	30	1,600	150	1,450	1,600	0
	(多様な市民が参加する大道芸ワークショップとステージ発表)							
4	「来て、観て、笑って、弾いてみて、ベーゼンドルファー」	2月	24	24	24	0	24	0
	(ベーゼンドルファーの自由演奏)							
	計		559	2,180	464	1,716	2,180	0
(3) ワークショップ、アウトリーチ事業								
	事業名	開催期間	見込み					
			入場者数	収入			支出	A-D 収益
	事業内容			A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
1	子ども向けのアウトリーチ	未定	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(近隣の児童施設にて人形劇公演)		30	240	0	240	240	0
	計		30	240	0	240	240	0

(4) その他								
	事業名	開催期間	見込み					
	事業内容		入場者数	収入			支出	A-D 収益
				A 総額 (B+C)	B チケット	C 市委託料 国等補助金	D 支出	
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
1	事業共通費	通年	0	10	0	10	10	0
	消耗品、収入印紙など							
	計		0	10	0	10	10	0
合計			909	2,950	664	2,286	2,950	0

2 貸館事業

目標	利用料金収入	3,400,000円
----	--------	------------